

【参考資料】

相互理解, 寛容 (協力することの大切さ)

○ 学年・教科

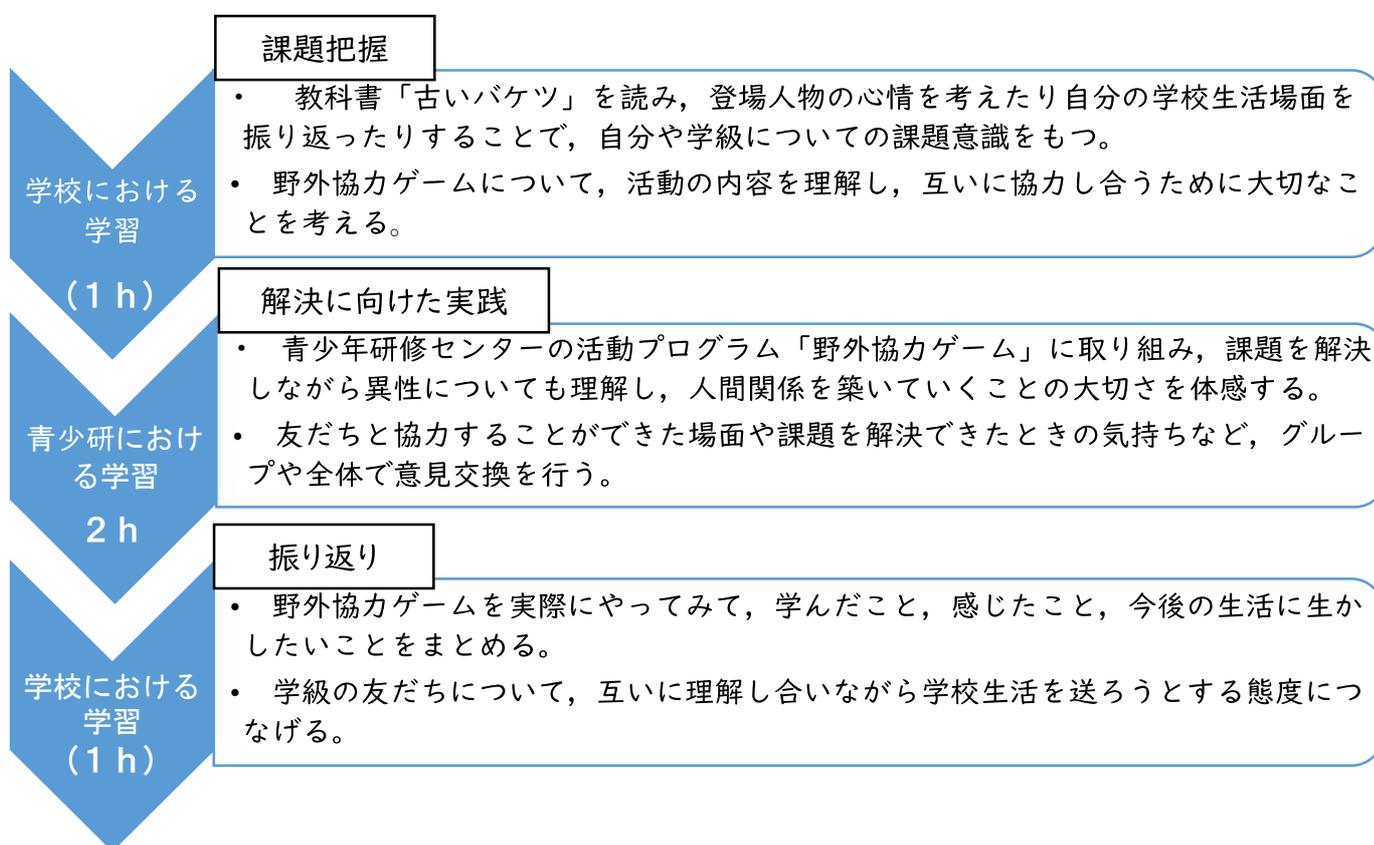
小学5年 特別の教科 道徳(2時間)「古いバケツ」
(指導内容B主として人との関わりに関すること「相互理解, 寛容」)

○ ねらい

- ・ 友だちを正しく理解し, ともに活動することの喜びに気付き, 進んで協力し, 助け合おうとする態度を養う。
- ・ 友だち同士で互いに協力して学び合う活動を通して, お互いのよさを認め, 支え合おうとする態度を養う。

○ 活動プログラム 野外協力ゲーム(雨天時:室内運動会)

○ 単元計画(例)



○ 活動プログラムにおける目指す児童生徒の姿(資質・能力)

知識及び技能, 安全

- 課題を解決するためには, 友だちを理解し, 力を合わせて協力したり, 友だちの考えを尊重したりしながら, 安全に課題を解決することができる。

思考力・判断力・表現力等

- 課題を達成するために, 各施設の条件やグループのメンバーの状況をふまえ, グループ内で主体的に考え, 解決方法を選択することができる。

学びに向かう力, 人間性等

- 各施設の課題にグループ内で協力して取り組み, 多様な意見を尊重し, 自己の役割や責任を果たそうとしたり, よりよい人間関係を築こうとしたりすることができる。

○ 本単元を通して高まりが期待できる非認知能力

コミュニケーション力, 協働力, 判断力・行動力, 問題解決力等

Ⅰ 単元名

「相互理解, 寛容(協力することの大切さ)」

○ 学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳 の「第1 目標」

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため, 道徳的諸価値についての理解を基に, 自己を見つめ, 物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え, 自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深める学習を通して, 道徳的な判断力, 心情, 実践意欲と態度を育てる。※()は中学校

<学習活動>

- ① 道徳的諸価値についての理解
- ② 自己を見つめる
- ③ 物事を(広い視野から)多面的・多角的に考える
- ④ 自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深める



<道徳性>

- 道徳的判断力
- 道徳的心情
- 道徳的実践意欲
- 道徳的態度

①~④の学習活動を通して, 道徳性を育てる

○ 小学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳

第2 内容

B 主として人との関わりに関すること

[相互理解, 寛容]

[第5学年及び第6学年]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 謙虚な心を持ち, 広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

○ 中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳

第2 内容

B 主として人との関わりに関すること

[相互理解, 寛容]

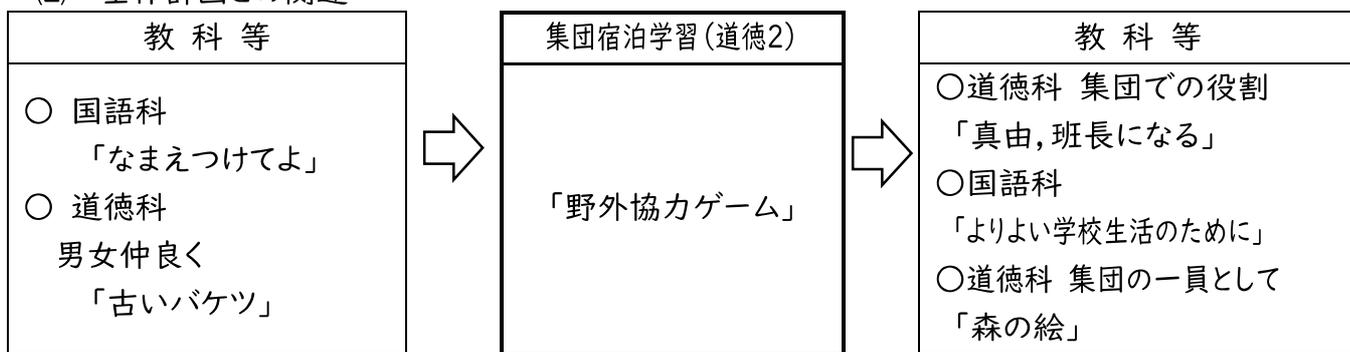
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと。

2 単元について

(1) 単元計画(例)

学習過程	活動内容	時数	活動の場
【事前学習】 問題の意識化	【特別の教科 道徳】 ・ 課題について知り,どのようにすれば解決できるか,また目標を達成できるかを話し合い,合意形成のもと,試みる方法を見つけ出すとともに,実践への意欲を高める。	1	学校
【活動中】 課題解決に向けた 試行錯誤	【特別の教科 道徳(1時間)】 ・ 活動のはじめに,個人及びグループの目標を確認する。 (「なりたい自分」を意識付けする。) ・ 野外協力ゲームの活動を始める。 ① 事前にグループで決めた取組み方法を試みる。 ② 試みた結果を受けて,グループで話し合い,よりよい方法を模索し,合意形成のもと1つの方法に絞り込む(レベルアップ(リベンジ,チャレンジ)タイム)。 ③ ②で決めた方法を試みる。 ④ ③の結果について,グループで意見交換する。 ・ 活動の終わりに,全体を振り返り,それぞれの思いや考えを共有する。 「取り組んだこと」「自分の思い」 「その原因・理由」「今後の見通し」	1	センター
【事後学習】 振り返り	【特別の教科 道徳】 ・ 活動前に立てた個人及びグループの目標について振り返りながらワークシートにまとめる。 (「なりたい自分」に近づくことができたか。) ・ 活動を通して気付いたことをワークシートに記入する。 (例:新たな発見,他人の良かったところ,生活に生かせること等) ・ それぞれの思いを共有する。 ・ これからの学校生活の中で,「今後の見通し(改善策や方針等)」を考え,実践につなげていく。	1	センター

(2) 全体計画との関連



(3) 集団宿泊学習として取扱う利点

当センターにおける集団宿泊学習やその中の野外体験活動は、仲間とのつながりや自分自身を見直すよい機会となっている。子ども自身が、多様な意見を受け止め、お互いを認め合う学級や学年の雰囲気の醸成に役立つ。その結果、子どもは感じたことや考えたことをより主体的に表現し、友だちのことを理解したり、協力し合うことよさや大切さについての考えを深めたりしていくことができるようになる。これらの変化は、非認知能力の向上に大きな効果をもたらすと考えられる。また、事前学習において集団宿泊学習のねらいに即した道徳的価値への関心を高めるとともに、事後学習において、体験を基に他の道徳的価値との関連にも気付きながら、自己の生き方について多角的・多面的に考えることで、それらを今後の生活に生かそうとする態度を養うことができる。

(4) 主体的で対話的な深い学びの視点

ア 主体的な学び

(ア) 目指す子どもの姿

課題を達成するために話し合う中で、道徳的価値に関する友だちの考えに共感し、自らを振り返り、課題や目標を見付けようとする。

(イ) 指導のポイント

自分の考えを表現することを苦手とする子どもには、「あなたはと思う？」等の問いかけを行い、発言しやすい状況をつくる。

イ 対話的な学び

(ア) 目指す子どもの姿

各施設の条件やメンバーの状況を踏まえ、課題を解決するための方法をグループ内で合意形成を図る中で、自己の生き方について考えを深めようとする。

(イ) 指導のポイント

多様な感じ方や考え方を引き出すために、子どもの緊張を緩和させ、友だちの考えを聞くときに、頷きを入れ、もう少し聞いてみたいことを積極的に問うように助言する。

ウ 深い学び

(ア) 目指す子どもの姿

グループ内の心情理解のみにとどまらず、課題を自分のこととして捉え、議論し、探究する過程を重視し、道徳的価値に関わる自分の考え方、感じ方をより深めようとする

(イ) 指導のポイント

様々なアイデアを試すときに、しっかりと他の意見を聞き、その意見を踏まえて自分の考えを述べるように促す。

3 活動プログラムの目標・評価の着眼点

(関係する非認知能力)

野外協力ゲーム(室内運動会)の課題を解決する活動を通して、友だちについて理解しながら、人間関係を構築していくことの大切さや、自分と異なる意見や立場を尊重する態度を養う。

(コミュニケーション力, 協働力, 問題解決力)

また、課題から解決の方法や約束について話し合い、合意形成を図り、自分の役割を意識しながら活動できるようにする。「物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深める」学習活動(協働力, 判断力, 問題解決力)

評価の着眼点	目 標	期待する具体的な学習状況 (※評価規準に相当)
道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか	<p><小学校> 野外協力ゲームの課題を解決していく中で、友だちのことを理解し、他の人の意見を尊重しながら、各施設の条件やグループのメンバーの状況をふまえ、主体的に自分の考えや意見をグループのメンバーに伝える。</p> <p><中学校> 野外協力ゲームの課題を解決していく中で、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重する。</p>	<p>「なりたい自分」をイメージできているか。 (ワークシート, 道徳ノート) 課題を自分のこととして捉え、他人の意見を尊重しながら、自分の意見を客観的に吟味し、主体的に課題を解決しようとする姿勢で発言しているか。 (道徳ノート, 発言, ワークシート)</p>
一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか	<p><小学校> 野外協力ゲームの課題を解決していく中で、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する。</p> <p><中学校> 野外協力ゲームの課題を解決していく中で、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく。</p>	<p>課題解決のための様々な意見を尊重しながら、考えたり話し合ったりしながら積極的に合意形成を図ろうとしているか。 (道徳ノート, 発言, ワークシート)</p>

4 青少年研修センターでの展開 [特別な教科 道徳 2時間]

(1) ねらい

野外協力ゲームを通して、友だちのことを理解し、共に活動することの喜びに気づき、進んで協力し、助け合おうとする態度や、友だち同士で互いに協力して学び合う活動を通して、お互いのよさを認め、支え合っていくようにする態度を養う。(B相互理解, 寛容頼)

(2) 展開

活動・場所	具体的な活動内容	指導上の留意点	時間
<p>【事前学習】 学校</p>	<p>1 友情に関するアンケートの結果を提示し、本時のめあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友情について考えよう。</p> </div> <p>2 「相手を理解しようとする」「相手を理解する大切さ」に気付く。</p> <p>3 友情を考える上で大切なことは、「自分も友だちも、長所も短所もある。互いに補い合って、助け合っている関係」であることを理解する。</p> <p>4 野外協力ゲームの内容について理解し、目的を達成するために必要なことを話し合う。</p>	<p><補助資料>「古いバケツ」</p> <p>1 アンケートの結果を提示することを通して、児童の興味・関心を高め、「相互理解、寛容」の道徳的価値への動機付けを図る。</p> <p>2 重たいバケツを率先して運ぶ紀幸の行動から、「思いやりの心」を感じ取ることで、仲間づくりの関係の架け橋となったことに気付かせる。また、相手を理解するためには「対話」が必要であることを気付かせる。</p> <p>3 他者に対する負の思い込みに気付かせることで、みんな長所も短所もあって、互いに補い合って、助け合っている関係であることを理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友情を考える上で、「なりたい自分」を考えさせる。発表し合う中で、互いに称賛したり励まし合ったりすることで実践への意欲を高める。</p> </div> <p>4 集団で課題を達成するためには、信頼関係を構築することが大切であることを気付かせることで、そのためには対話が大切であることを気付かせる。</p>	<p>道徳 1</p>
<p>【野外協力ゲーム】 センター</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><打合せの実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に担当職員と団体引率者で、引率者の配置や注意事項、連絡体制等について確認を行う。 </div> <p>1 健康観察、安全指導を行う。</p> <p>2 前時の学習を振り返り、活動のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>野外協力ゲームをみんなで協力してクリアしよう。</p> </div>	<p>1 健康観察、安全指導を最初に行うことで、安全性の確保の重要性を理解させる。</p> <p>2 前時の学習を振り返らせることで、「なりたい自分」や「対話の大切さ」を改めて意識させる。</p>	

<p>【野外協力ゲーム】 センター</p>	<p>3 活動の説明を聞く。 (1) ゲームについての説明 (2) 注意事項 ・ 安全面、グループ活動、 活動終了時刻等 (3) グループの話合い</p>	<p>3 活動の説明を聞くことを通して、野外協力ゲームの内容や注意事項について理解させる。さらにグループで話し合わせることで、グループ内で情報を共有し、意欲を高めさせる。また、安全に課題を解決するためには、グループでの協力が不可欠であることに気付かせる。</p>	
<p>評 一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価する。特に担任は、すべてのグループの活動を観察できるように配置する。〈行動観察〉 ※ 複数の指導者で学習状況を把握するために、活動終了後、情報交換の時間を設定する。</p>			
	<p>4 野外協力ゲームを行う。</p>	<p>4 野外協力ゲームを行うことで、課題を解決するためには協力が必要であることを実感させる。そのために、対話することが重要であることを理解させる。</p>	
<p>評 一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価する。特に担任は、すべてのグループの活動を観察できるように配置する。また、観察したよりよい行動をその場で子どもたちにフィードバックする。〈行動観察〉 ※ 複数の指導者で学習状況を把握するために、活動終了後、情報交換の時間を設定する。</p>			
	<p>5 野外協力ゲームを振り返り、各自で感じたことをまとめ、またグループ内で意見や感想を述べ合い、共有する。 6 全体で感想発表を行う。</p>	<p>5 個人やグループで振り返ることで、協力することや対話することの大切さを実感させる。 6 全体で感想等を共有することで、実生活で生かせそうな場面について考えさせるとともに、進んで協力し、助け合おうとする態度やお互いのよさを認め、支え合っていこうとすることの大切さや多面的・多角的な見方に気付かせる。</p>	
	<p>7 担当所員のまとめを聞く。</p>	<p>7 グループで協力し合うことができた様子や積極的な対話を紹介したまとめを聞くことを通して、これからの学校生活で実践しようとする意識付けを行う。</p>	

道徳
2

<p>【事後学習】 学校</p>	<p>※ 学校職員はグループの振り返りの際、グループ内での発言やつぶやきに着目し、児童の学習状況把握に努める。</p> <table border="1" data-bbox="391 268 1300 638"> <tr> <td data-bbox="391 268 837 414"> <p>1 前時のまとめを振り返り、個人内で別な視点で感想や意見がないか考える。</p> </td> <td data-bbox="837 268 1300 414"> <p>1 全体の道徳的価値を個人内にフィードバックさせることで、自分自身との関わりの中で深めさせる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="391 436 837 593"> <p>2 学校生活で今日学んだことを具体的に生かせる場を考え、その情報を全体で共有する。</p> </td> <td data-bbox="837 436 1300 593"> <p>2 学校生活で今日学んだことを具体的に生かせる場を考えさせることで、多面的・多角的な見方に発展させる。</p> </td> </tr> </table> <p>※ 自己評価や相互評価を実施し、自分のよい点に気付くことを通じて、意欲を高めたり、学び方を改善したりする。(集団宿泊学習等のしおりにおけるワークシート等)</p>	<p>1 前時のまとめを振り返り、個人内で別な視点で感想や意見がないか考える。</p>	<p>1 全体の道徳的価値を個人内にフィードバックさせることで、自分自身との関わりの中で深めさせる。</p>	<p>2 学校生活で今日学んだことを具体的に生かせる場を考え、その情報を全体で共有する。</p>	<p>2 学校生活で今日学んだことを具体的に生かせる場を考えさせることで、多面的・多角的な見方に発展させる。</p>	<p>学級活動など ↓</p>
<p>1 前時のまとめを振り返り、個人内で別な視点で感想や意見がないか考える。</p>	<p>1 全体の道徳的価値を個人内にフィードバックさせることで、自分自身との関わりの中で深めさせる。</p>					
<p>2 学校生活で今日学んだことを具体的に生かせる場を考え、その情報を全体で共有する。</p>	<p>2 学校生活で今日学んだことを具体的に生かせる場を考えさせることで、多面的・多角的な見方に発展させる。</p>					

(3) 評価の観点

- 道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子
課題を自分のこととして捉え、他人の意見を尊重しながら、自分の意見を客観的に吟味し、主体的に課題を解決しようとする姿勢で発言している。(活動観察)
- 物事を多面的・多角的に考えている様子
課題解決のための様々な意見を尊重しながら考えたり思いを伝えたりしながら、積極的に合意形成を図ろうとしている。(活動観察, 感想記述)
- 価値に対する意識を高める様子
ふりかえりの中で、価値に対する「自分の思い」「その原因・理由」「今後の見通し」を言語化し書き表そうとしている。(ワークシート, 発表)